

経営比較分析表（平成29年度決算）

熊本県 玉名市

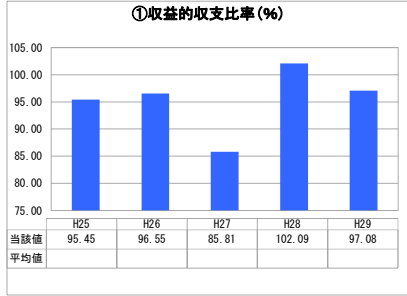
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	特定地域生活排水処理	K3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡ ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	0.84	100.00	3,547

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
67,261	152.60	440.77
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
564	20.40	27.65

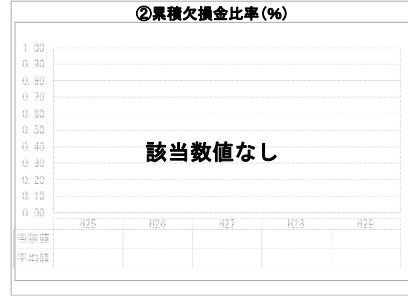
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 平成29年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



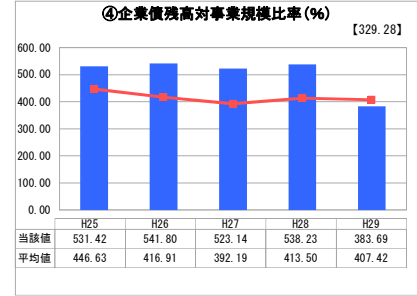
「単年度の収支」



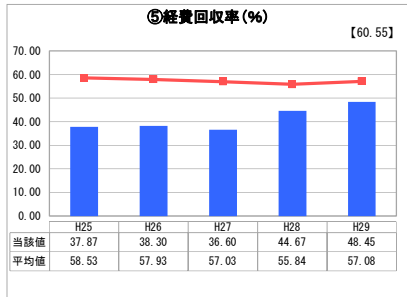
「累積欠損」



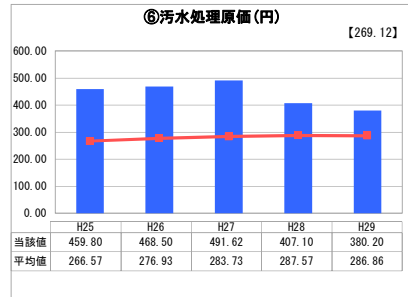
「支払能力」



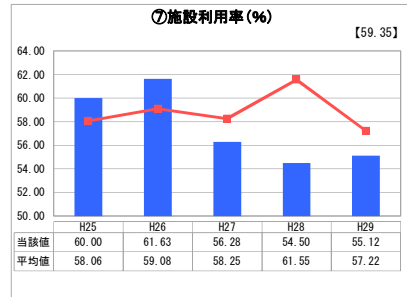
「債務残高」



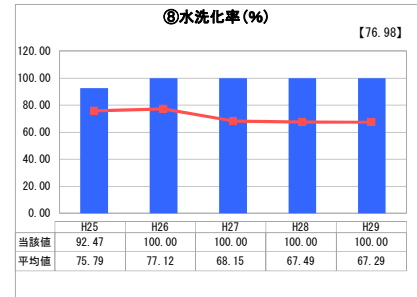
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

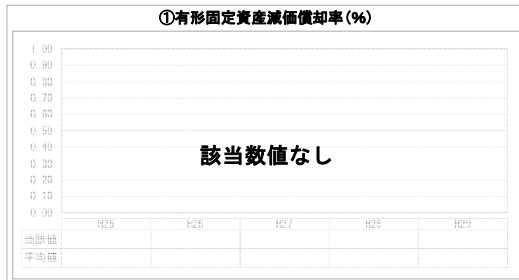


「施設の効率性」

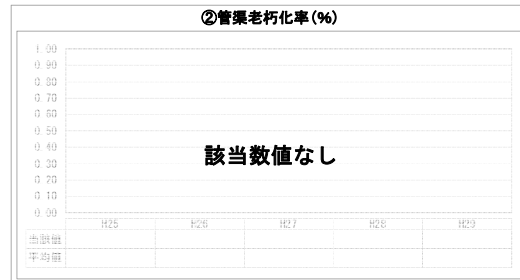


「使用料対象の捕捉」

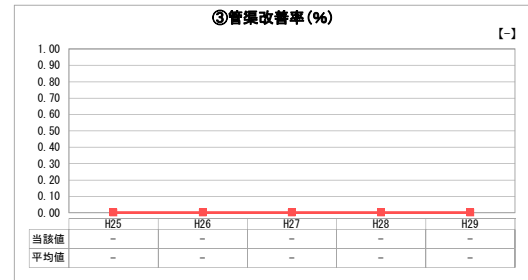
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率については、平成29年度決算において100%を下回ったため、今後は100%以上を目標とします。
- ・企業債残高対事業規模比率は、500%を超え数年増加傾向にあったが、平成29年度決算において383.69%まで下がりました。しかし、現在の事業規模や経営状況のままでは債務弁済財源の確保が厳しい状況となっています。
- ・経費回収率については、類似団体及び全国平均値より低い水準にあり施設規模及びコスト水準に対して使用料収入の水準が見合っていない状況にあるため、収益性を改善させるには抜本的な施策が必要な状況であります。
- ・汚水処理原価は、年間有収水量の増加に比べ、汚水処理費の増加が大きいため高い数値となっています。類似団体との比較でも悪い状況にあります。

2. 老朽化の状況について

- ・老朽化に係る課題は、検出されていない。

全体総括

- ・中長期的な視点から収入と支出のバランスを確保すべく、経営戦略を平成28年度に策定した。今後、使用料収入の見直しの自途である3年ごとの見直し及びストックマネジメント計画の策定等投資計画の変更があれば随時見直しを行っていき、効率的な施設整備と適切な使用料水準及び接続動費の推進により、将来安定した経営を継続できるように取り組んでいきたいと考えています。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。